

色とりどりの雪の結晶

ハピテラスで写真展

科学の面白さを伝える活動をしているNPO法人「くい科学学園」は十五日、福井市のハピテラスで「雪の結晶写真展」(日刊県民福井、中日新聞社後援)を開いた。

日本郵便の助成を受けて本年度から取り組んでいる青少年のための科学教育推進プロジェクトの一環。県内などで撮影した雪の結晶や人工雪の結晶の写真四十点を展示しているほか、雪の結晶のレプリカを顕微鏡で観察する体験コーナーなどを設置した。レプリカは北海道の旭川

市科学館から提供されたもので、結晶を氷点下まで冷やしたスライドガラスに置き、アクリル樹脂の溶液を垂らして作った。体験コーナーでは、赤や青など五色の照明で照らした結晶を顕微鏡で見て、きれいに色づいた様子を楽しんでいた。

た。

香川喜一郎理事長(セモ)は「こういう機会を通して、科学の面白さや自然の美しさに目を向けてほしい」と話した。ふくい科学学園は、今後も写真展やスキー場の雪の結晶観察会などを開催する。(堂下佳鈴)



色とりどりの雪の結晶の写真展を楽しむ来場者＝福井市のハピテラスで